

ナルチス I

のぞきこんである上に  
霧がやつて来る  
水の面がゆれて  
私が居なくなる

考へてゐたのだらうか  
見てゐたのだらうか  
底の向ふの方に  
動いてゐたものも

霧がつぶつぶになつて  
ほほを打つ  
手もしびれはじめた

ぬれてゐる手の甲の上に  
自分の重みを私はかける  
自分をもう一度見つめよう